

東京散策

—ピンホールカメラで東京をみつめる—

写真学科

上田耕一郎

Stroll in Tokyo

—looking at Tokyo through a pinhole camera—

Department of Photography

UEDA Koichiro

普段、急ぎ足で歩きがちな東京の街を、ピンホールカメラでゆっくり見つめてみた。

ピンホールカメラは、レンズの代わりに針で開けたような小さな穴に光を通して、外界の像をつくり出す。

レンズを使ったカメラに比べて、フィルムに到達する光の量が少ないので露光に時間を要するが、撮影の過程においてはピンホールに光が流れ込んでいる間は、まるで時間が止まっているかのような錯覚に陥る。

写真の画質も普通のカメラで撮影したものに比べると鮮明ではないが、長時間露光の要素も加わって、出来上がった写真は異次元世界をつくり出す。

カメラの原点ともいえる、このシンプルなつくりでできたピンホールカメラを使って、東京の街を撮影するという行為は、都会での速い時間の流れをスローなものへと変化させ、日常と違った新たな世界の発見へと繋がる。それは「写真」でしか表現できない世界でもある。

ピンホール写真と接している間、少し現実逃避している感覚を覚えながら、この大都市・東京と向き合ってみた。



SCENE 1 足立区舎人



SCENE 2 渋谷



SCENE 3 芦花公園



SCENE 4 新宿西口



SCENE 5 世田谷区南烏山



SCENE 6 日暮里



SCENE 7 大田区大森